

平成23年度 長野県岡谷工業高等学校 学校評価表

学校番号 53 岡谷工業高等学校

1 学校教育目標と重点目標

No. 1

| 学校教育目標 | 重点目標（中・長期的目標） |
|--|--|
| <p>教育基本法ならびに学校教育法の精神に則って、次の目標を達成することに努める。</p> <p>（1）人格の形成をめざし国家ならびに社会の有為な形成者として必要な資質を養うため、一般教養を高める。</p> <p>（2）日本の工業の建設発展の根幹である技術者として必要な技能・知識・態度を養成する。</p> <p>（3）本校の伝統校風である質実剛健、至誠一貫の精神を涵養する。</p> <p>信条 「技術者となる前に人間となれ」</p> | <p>地域のニーズに応えられる生徒を育成し、より魅力的な工業高校の姿を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学力の一層の向上に努める。 2. クラブ活動の充実と活性化に努める。 3. 地域に根ざした魅力ある学校づくりに努める。 |
| | <p>今年度の重点目標</p> |
| | <p>○進路実現のためのサポートと学力の定着向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路意識を高めるキャリア教育の推進 ・インターンシップによる実践的総合力の習得 ・積極的な求人開拓 |
| | <p>○生徒に活躍の場を与え、やる気と自信、達成感と成就感を持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得や技能検定への挑戦、各種コンテスト、大会への参加 ・生徒会活動、部活動の充実 |
| | <p>○地域に根ざした開かれた学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献・地域連携・地域活性化への取り組み ・文科省・発明協会等の指定事業への取り組み ・創立100周年記念事業への全面的な協力 |
| <p>○環境に配慮したものづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮したものづくりの学習活動の充実 ・環境管理システム「エコアクション21」の推進 | |

| 領域 | 対象 | 評価項目 | 評価の観点 |
|------|------|-------------------------|---|
| 教育活動 | 教育課程 | 教育課程の編成 | 生徒の実態と要望に応じた教育課程の編成ができて いるか。 平成25年度新学習指導要領本格実施に応じた教育課 程の検討が行われたか。 |
| | | 工業高校としての独自性 | 実習（「ものづくり」や実験等）を通じて生徒の独 創性を涵養することができたか。 |
| | | 選択制の実施 | 生徒の実態と要望に応じた科目設定、適切な時期に 適切な科目選択指導が行われたか。 |
| | | 習熟度別学習 | 習熟度別学習により効果的な学習が行われたか。 |
| | 学習指導 | 学力の向上 | 実態に対応したわかりやすい授業の実践、個々の状 況（学力や進路希望など）にあわせた補習授業の実 施をとおして、生徒の基礎学力の向上に努めること ができたか。 |
| | | 開かれた学校教育 | シラバスの作成・公開、授業公開を複数回おこなう などの取り組みをとおして、本校の教育活動を一般 に周知することができたか。 |
| | | 保護者との協力体制 | 入学式や地区PTAでの保護者向け説明、家庭連絡 書の活用などをつうじて、保護者との連絡を密にし た学習指導を実施できたか。 |
| | 生活指導 | 家庭との連携 | 家庭や学校生活での行動の変化等の心配事や、事 件・事故・問題行動発生時等に速やかに対応できる ように家庭との連携が取れているか。 |
| | | 生徒への意識啓発 | 校内外で起こりうる事件・事故に対して正しく対処 するにはどうしたらよいか考えさせ、また、常識あ る行動を取れるように指導したか。 |
| | | 相談体制の充実 | 生徒が相談しやすい校内体制が整備されているか。 |
| | | 手続きのアカウントビリティ （説明責任） | 生活指導上の「指導」において、その根拠や手続き について生徒や保護者に十分な説明と理解がされて いるか。 |

| 領域 | 対象 | 評価項目 | 評価の観点 |
|--------|------|--------------------|--|
| 教育活動 | 生活指導 | 職員協力体制の確立 | 日常の生活指導において、全職員の協力体制ができているか。 |
| | 進路指導 | 生徒個々の進路希望に応じた進路の実現 | 生徒への進路情報の提供及び進路相談業務をとおして、生徒の希望・能力・適性に応じた進路希望がかなえられるように指導できたか。 |
| | | 進路情報の収集 | 入試説明会や学校見学会等に参加し、進学先の積極的な情報収集に努めたか。事業所の視察や求人票の受付業務等をとおして、的確な就職情報の収集に努めたか。 |
| | | 職業意識の形成 | インターンシップ・進学ガイダンス・就職講話・保護者向け進路講話等を利用して、生徒の職業意識の形成が図られたか。 |
| 特別教育活動 | 生徒会 | 生徒の自主活動 | 生徒会活動全般において、生徒が自主的主体的に企画運営を行い、活動を通して達成感と充実を得ることが出来たか。全会員の生徒会活動への意識向上ができたか。 |
| | | 部活動 | 日々の部活動を充実したものにすることが出来たか。 各部で定めた目標を達成することが出来たか。 |
| 学校運営 | 教務 | 円滑な業務遂行 | 教育目標に沿って、日常の学校業務が円滑に進むよう、計画の立案と執行が図られたか。 各係・委員会等との連携の下で、効率的に校務を推進することができたか。 |
| | | 学検業務の推進 | 前期選抜・後期選抜を円滑に行うとともに、本校の特徴を中学生、受検生に理解してもらえたか。 |
| | | 地域に開かれた学校作り | 本校の教育活動の現状や魅力を地元中学校や企業・地域社会等にアピールし、十分理解を得るとともに、地域に開かれた学校作りに努めたか。 |